

子供宝也 No.6

平成 24 年 5 月 29 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

すくすく伸びろ！！

3年3組が理科の学習をしていました。先日まいたまわりの種が少し芽を出しているとのことでした。私も子どもたちと一緒に観察して、観察カードを提出することにしました。

花壇へ行きました。子どもたちはどうしても芽をさわりたいくなります。観察は五感をフルに活用して行うものですから、止めるわけにもいかず、でも、芽が折れそうだし・・・。

先生が、「感想は一番下の行まで、しっかり書くんですよ。」と言われましたので、みんな一生懸命に観察して、カードを書いていた。私のは知識ばかりが先行していて全然だめですが、子どもたちの純粋な目を見た感想をひとつ紹介します。

「つるつるしていました。種が出てきているのもありました。まだ、土のなかにいる芽もありました。芽はお日様にいっぱいあたって、あたたまっていました。わたしだったら、あつくてあつくて、もうがまんできないと思いました。」

ほかにも「ちゃんと見守りたい。」とか「1 m近くになるなんて不思議に思いました。」「大きさは指のつめぐらいでした。」「大きくなったら背くらべをしてみます。」・・・

優しい感性や子どもらしい表現力。すくすく伸びてほしいと思いました。

中学校とのなめらかな接続

中学校とのなめらかな接続をめざして、5年生と6年生は今年度から一部教科担任制を導入し、理科と社会は交換授業をしています。5年生の場合、笠井先生は1組と2組の両方のクラスの理科を教えます。遠山先生は1組と2組の両方のクラスの社会を教えます。3組と4組については、時安先生が理科を川合先生が社会を教えます。

6年生の場合、寺岡先生が社会、加藤先生が理科、四方先生が理科、大龍先生が社会といった具合です。（6年生はまだスタートしていません。）

この日は、5年3組の理科を見ました。「めだかの誕生」という単元でした。「めだかを飼う時、水槽を直接日光のあたるところに置かないのはどうしてだと思いますか。」といった質問に対して、

「水温が上がりすぎるからだと思います。」

「でも、めだかは強くて、40℃ぐらいまでなら耐えられます。」

「だからといって、そんなぎりぎりのところに置く必要はないと思う。」

「気持ちがいい環境のほうがよい。」

いろいろな意見が出されるたびに、首をかしげたり、うなずいたり。見ていて楽しかったです。

こういった交換授業に対して、子どもにアンケートをとってみました。今回は、たまたま担任の先生の授業でしたが、先生がかわると違和感を感じるという子どもたちもいましたが、

- ・いろいろな先生と仲良くなれる。
- ・授業が新鮮です。
- ・適度な緊張感がいい。
- ・授業がくわしくてわかりやすい。
- ・気分転換になる。
- ・雰囲気よくなる。

など、おおむね好評のようでした。

試行錯誤の段階ではありますが、子どもたちの学力向上のために努力していきます。